

第101回安来市議会定例会12月定例会議の開議にあたり、諸議案の説明に先立ちまして、最近の市政の主な動きと所信の一端を申し述べます。

はじめに、国への要望活動についてであります。

11月15日には、全国治水砂防協会島根県支部長として、11月15日から16日にかけては、島根県過疎地域対策協議会副会長として、また、11月17日には、中国横断新幹線（伯備新幹線）整備推進会議の副会長として東京に出向き、中央要望活動を行ってまいりました。

島根県過疎地域対策協議会の要望活動では、過疎対策事業債ソフト事業分の個別市町村への配分額が減少していることに対し、「シェア拡大」及び「発行限度額の引き上げ」について、私から直接申し上げたところであります。

今後あらゆる機会を通じて本市の実情にあった施策推進や支援等を積極的に訴えてまいります。

次に、新型コロナウイルス感染症についてであります。

10月に入り、減少傾向となっておりました新型コロナウイルス感染症の新規感染者数ですが、11月に入り再び増加傾向になっており、島根県の丸山知事は、11月22日の定例記者会見において、「第8波に入った」との認識を示されました。

そのような中、11月12日には、安来市立病院内でスタッフ及び

入院患者の新型コロナウイルス感染症への感染が確認されました。そのため、11月13日から新規入院の受入れと一部業務を中止させていただいておりましたが、安全が確認できましたので、11月28日13時より全ての業務を再開しております。

これまで院内での感染予防に努めてまいりましたが、結果的に感染者が出たことにより、市民の皆様にご心配をおかけしましたことに対し、深くお詫び申し上げます。引き続き、院内感染拡大防止策を徹底するとともに、改めて職員の健康・生活管理など感染防止の取り組みについて注意喚起を行ってまいります。

また、市民の皆様には、引き続き、「三つの密」など感染リスクが高まる場面を避ける、こまめな換気、人と人との距離をとる、マスクの着用、手洗いなどによる手指衛生など、基本的な感染防止対策をお願いいたします。

発熱や風邪などの症状があるときは、出勤など外出は控えていただき、速やかにかかりつけの医療機関に電話で相談してください。

ワクチン接種につきましては、感染予防や重症化予防に効果があることが国から示されています。お手元に接種券が届いた方は、予防効果と副反応によるリスクの双方をご理解のうえ、早めに接種されることを積極的にご検討いただきますようお願いいたします。

このような状況の中ではありましたが、11月20日には、「第18回安来市農林業祭」が、3年ぶりに開催されました。当日は天候にも恵まれ、2,744人の方にお越しいただきました。「安来の魅力を再

発見♪実りの秋を楽しもう！」をテーマに、新鮮な地元産野菜や農産加工品の販売、体験コーナーなどがあり、3年ぶりの農林業祭を楽しんでいただけたものと感じております。

安来市では、今後計画するイベント等についても、引き続き島根県の目安に基づくのはもちろん、その規模に関わらず、「三つの密」が発生しない席の配置や、「人と人との距離の確保」、「マスクの着用」など基本的な感染防止対策を講じて、可能な限り開催する方向で検討してまいりたいと考えております。

次に、第12回全国和牛能力共進会についてであります。

10月6日から10日に鹿児島県で開催された第12回全国和牛能力共進会では、各都道府県から約450頭の和牛が集まり、島根県からは21頭が出場しました。その中で、安来市から出場した伯太町下十年畑の田口好美さんの牛が第3区において、優等賞第14席を獲得されました。田口さんと関係者の皆様のこれまでのご尽力の賜物であり、深く敬意を表するところであります。今回の結果は、今後のやすぎ和牛の発展に大いに寄与するものであり、安来市といたしましても、一層のブランド力強化を図っていきたいと考えております。

次に、公共施設の利活用についてであります。

令和4年3月に改訂しました「安来市公共施設等総合管理計画」に基づき、現在、安来市では「富田山荘の民間譲渡等に係る公募型プロポーザル」及び「上の台緑の村の活用に係るサウンディング型市場調

査」を実施しております。

富田山荘は、令和3年3月末に休館して以降、直営で管理を行ってまいりましたが、この度、建物の民間譲渡を前提として、幅広く活用方法を募集するものであります。公募条件として、「富田山荘の利活用を検討する会」から要望のあった温浴施設としての活用を基本として事業提案を求めることとしております。

また、上の台緑の村は、民間事業者等からノウハウやアイデアを求め、市場性等を把握することを目的としたサウンディング型市場調査を実施するものであります。サウンディング型市場調査とは、建物や土地等市有財産の活用方法や事業手法について、民間事業者等から広く意見や提案を求め、直接の対話を通じて当該地の市場性の有無や、公募事業の成立の可否について、様々な可能性を調査及び把握するものです。市全体の活性化につながる利活用を検討するため、調査の条件として、「地域振興、地域活性化に繋がる利活用であること」及び「周辺の環境に配慮した利活用であること」としており、民間活力を積極的に導入し、広くアイデアを募ることとしております。

富田山荘は、令和5年2月に選定結果の報告を、上の台緑の村は、令和5年3月以降に調査結果の公表をすることとしており、民間事業者の皆様の積極的なご提案を期待するものであります。

次に、やすぎマイナポイント付与事業についてであります。

新型コロナウイルス感染症対応として、マイナンバーカードの普及、キャッシュレス決済の利用促進、地域の消費喚起や地域経済の活性化

を図ることを目的として、準備を進めておりました安来市が独自にポイントを付与する「やすぎマイナポイント」の申し込みを本日より開始いたしました。

付与額は、一人あたり5,000円分のポイントで、申込期間は、本日から令和5年2月末までとしております。対象者は、安来市に住民登録のある方で、既にマイナンバーカードを保有している方または申込期間内にマイナンバーカードの交付を受けた方で、マイナポイントアプリからの申請が必要となります。なお、申込支援を希望される方は、安来市役所安来庁舎1階マイナポイント申込支援窓口、広瀬地域センター及び伯太地域センターにて対応しておりますのでお気軽にご利用ください。

また、マイナンバーカードをまだお持ちでない皆様におかれましては、これを機に是非取得していただきますようお願い申し上げます。

次に、福祉総合相談窓口の設置についてであります。

地域住民の総合相談窓口として、安来市社会福祉協議会が開設する「福祉総合相談窓口」を市役所安来庁舎1階の総合案内がある場所に設置いたします。生活相談はコロナ禍で増加している状況であり、窓口の設置により、相談者の利便性の向上や市役所関係部署とのスムーズな連携が図れるものと期待しており、令和5年4月からの設置に向けて準備を進めてまいります。

次に、安来市プロモーション動画についてであります。

全国各地の地域密着型メディアに参加を募り、参加媒体を誌面クオリティや読者の支持など、多彩な視点から審査し、評価の高い媒体を選定して表彰する「日本地域情報コンテンツ大賞2022」の結果発表が11月28日にあり、SNS等を介して広く安来市をPRするプロモーション動画「淡く美しく Cinematic Vlog YASUGI」が、動画部門の最優秀賞を受賞いたしました。さらに、読者投票の動画部門でも第3位となり、審査員からの高い評価だけでなく、一般の方からも高評価を得た結果となりました。

誘客に向けた観光プロモーションでは、SNS等を活用した目を引く動画の宣伝効果が高いことから、引き続き、このプロモーション動画を有効活用していく考えであります。また、この動画を観たことをきっかけに安来市に訪れた観光客が、来て良かった、また行きたいと思っただけけるよう、多様な観光スタイルに対応した受地整備及び観光コンテンツの磨き上げを目的としたエリアブランド強化を図っていきたいと考えております。

最後に、ハーモニータウン汐彩分譲事業についてであります。

「定住化の促進」と「住環境の整備」を目的として行ってきた「ハーモニータウン汐彩」の分譲事業ですが、平成12年に分譲を開始し、住宅祭の開催や分譲価格の改定など、議員の皆様にもご理解をいただきながら分譲策を進めてまいりました。

このたび、10月末をもって229区画の宅地分譲が全て完了いたしました。これまで、多くの皆様にお問い合わせとご来場を賜り、ま

た関係者の皆様のご協力とご支援をいただきましたこと、心より感謝申し上げます。

引き続き、「区画整理事業への支援」や、「空き家対策」など市内の住環境整備に取り組んでまいります。

今回提案いたします案件は、議決案件34件、報告案件1件、同意案件1件であります。

諸議案の詳細につきましては、後ほどご提案させていただきますので、何とぞよろしくご審議をお願い申し上げます。